



## 掲載に際して(二〇〇七年度卒業論文要旨集)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-01-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 吉見, 孝夫 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/7298">https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/7298</a>

## 二〇〇七年度卒業論文要旨集

掲載に際して

吉見 孝夫

「コピペ」なる語がある。「コピ&アンドペースト」、つまりは古典的に「剽窃」と呼ばれた、他人の文章の盗み取りの現代的手法である。どんなに長い文章でも数回のキータッチで済ませられるお手軽さ。大学のレポートにも横行しているようだが、最近これを防ぐプログラムができたとも聞く。

さて、以下に載せる卒業論文の中に、コピペまがいはないだろうか。「それはない」と断言できる。七月の構想発表会、「何をねらっているのかわからない」とどやされ、十月の経過発表会、「あと二か月死に物狂いで頑張るしかない」とつきはなされ、十二月二十八日、前の晩徹夜して午後三時の期限に何とか間に合わせ、二月の口頭試問の場で、涙をこらえた姿を私は知っているからである。

十年後にこのページを開いてご覧なさい。この一年間の悪戦苦闘が、(憎たらしい／慈愛に満ちた)指導教員の顔とともに、甘い感傷を伴って蘇ってくるはずだ。コピペではこれは味わえない。(カッコ内は適する方を選べ。)